

千葉県外国人活躍・多文化共生推進プラン 概要

～国籍及び文化的背景などの様々な違いにかかわらず、誰もがその人らしく活躍している社会の実現～

プランの概要

【策定の趣旨】

多様性尊重条例の理念を踏まえ、「誰もがその人らしく活躍している社会」の実現を目指し、成田空港を擁する世界に最も近い県として、全ての各関係主体とともに取組を進める。

【期間】

令和6年度～令和9年度

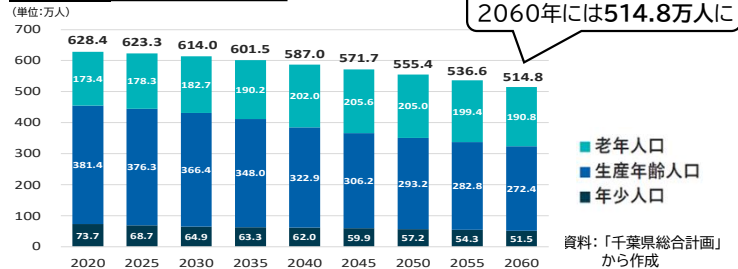
【進行管理】

施策目標ごとに指標を設定し、毎年度数値を確認

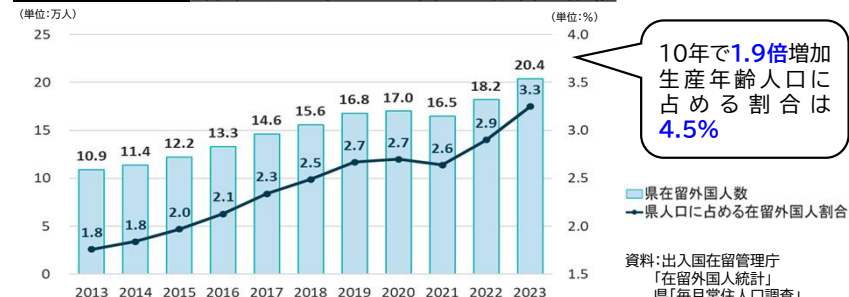
策定の背景

※ 本プランにおける「外国人」：国や地域にかかわらず、日本以外の多様な言語や文化的背景などを有する方

○千葉県の将来人口推計



○千葉県の在留外国人数と県人口に占める割合の推移



<近年の主な社会経済情勢の変化等>

- 育成就労制度の創設等の国の動き
- 国際的な人材獲得競争の激化
- デジタル化の進展
- 新型コロナウイルス感染症の影響
- 気象災害の激甚化等
- 成田空港の更なる機能強化の進展

県政を進める上での重要な視点

【多様性尊重条例の基本理念】 国籍及び文化的背景などの様々な違いにかかわらず、全ての県民及び事業者がこれを理解し、尊重し合うことで、誰もがその人らしく活躍している社会の実現

→ 多様性の尊重は、生きづらさの解消や創造性の向上につながり、県全体に活力をもたらす

目標・施策体系

基本目標

誰もが活躍し、安心して暮らすことにより、将来にわたり社会の活力を生み出せる県づくり

施策目標Ⅰ：活躍

一人ひとりが様々な違いのある個人として尊重され、その人らしく活躍できる県づくり

働き手としての活躍

- 外国人留学生等の就職に向けた支援
- 外国人採用・定着に関する支援
- ・留学生等、本県での就職希望者に対するセミナー開催等の支援の充実
- ・幅広い分野での雇用環境整備等、外国人材の確保・定着の促進
- ・空港・航空関連産業(外国人材の活躍の検討)
- ・介護(留学生と施設のマッチング等)等

地域の担い手としての活躍

- 多文化共生意識の醸成
- 外国人県民の活躍の場づくり
- ・多様性尊重の意義等についての理解促進のための広報啓発
- ・市町村における外国人の地域との連携に係る優良事例の横展開
- ・チーパくんグローバルパートナーズの活動機会の増加

コミュニケーション支援

- 日本語や生活ルール等を学ぶ地域日本語教育の充実
- 「やさしい日本語」の普及
- 行政相談窓口の多言語対応・多言語や「やさしい日本語」による情報提供
- ・帯同家族等を対象とした基礎日本語教育の推進
- ・「やさしい日本語」の研修会の開催、県ホームページ等での対応促進
- ・外国人相談の対応能力向上

子どもの教育環境の整備

- 外国人児童生徒等教育の指導体制の整備・充実
- 教員・指導員等の養成・確保
- 就学の促進・キャリア形成支援等
- ・日本語指導が必要な外国人児童生徒への指導体制の一層の充実
- ・義務教育年齢を超過した外国籍の子どもへの支援体制の充実

防災・防犯・交通安全対策の推進

- 防災情報の多言語化・「やさしい日本語」化
- 災害時の外国人支援体制づくり
- 防犯や交通安全に関する規範意識の醸成
- ・「やさしい日本語」での防災啓発の充実
- ・大規模災害時の千葉県災害時多言語支援センターの設置・運営

住宅・医療・保健・福祉の充実

- 住環境の整備
- 医療環境の整備
- 保健・福祉分野における支援
- ・外国人医療に関する関係機関による協議会の設置

※青字：改訂の主なポイント

施策目標Ⅲ：連携

様々な主体の連携により、活躍・共生を推進する県づくり

外国人活躍・多文化共生の推進のための様々な主体の連携・協働

千葉県外国人活躍・多文化共生推進プラン 主な内容

～国や文化が違っていても、みんなが自分らしく活躍している社会～

プランのねらいなど

【プランのねらい】

千葉県は、成田空港があって、外国から日本への入り口になる県です。「多様性尊重条例」の目標「みんなが自分らしく活躍できる社会」をめざします。

【プランの期間】

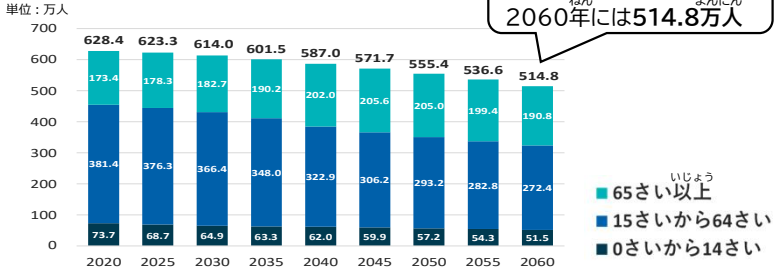
2024年4月から2028年3月まで

【プランの振り返り】

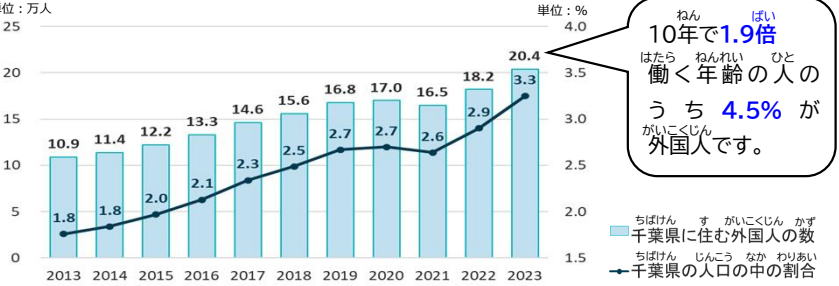
目標ごとの進み具合を数で表します。

千葉県の状況

○将来の千葉県の人口(予測)



○千葉県に住む外国人の数と割合



<最近、日本や千葉県であったこと>

- 育成就労制度ができることが決まったこと
- 世界のたくさんの国で、働く人が必要であること
- デジタル技術が発達したこと
- 新型コロナウイルスがはやったこと
- 強い台風や大雨などが増えていること
- 成田空港がもっと大きくなること

大事なこと

【多様性尊重条例の目標】「国や文化が違っていても、みんなが、その違いを大事にして、自分らしく活躍している社会」

→ みんなが、違いを大事にすることは、生活がしやすくなったり、新しいことに気づいたりして、千葉県を元気にすることにつながります。

目標(めざすこと)

大きな目標

みんなが活躍し、安心して生活することができて、いつまでも元気でいられる千葉県

目標Ⅰ: 活躍(力をはきすること)

違いがあっても、みんなが大事にされ、自分らしく活躍できる千葉県

目標Ⅱ: 共生(いっしょに生活すること)

国や文化が違っていても、みんながいっしょに安心して生活できる千葉県

働いて活躍できる

- 外国からの留学生の就職を助ける
- 会社が外国人を雇うことを助ける

生活する地域で活躍できる

- 国や文化が違っていても、いっしょに生活する気持ちをもつ
- 外国人が地域で活躍できる場所をつくる

人と話したり、情報を見たり、聞いたりできる

- 日本語を勉強できるようにする
- 「やさしい日本語」を使う
- 役所などで、いろいろな国の言葉や「やさしい日本語」で情報を伝える

子どもが学校で勉強できる

- 外国人の子どもの勉強を助ける
- 外国人の子どもを助ける
- 学校の先生がいる
- 学校に行くことを助ける

災害、犯罪、事故から守る

- いろいろな国の言葉や「やさしい日本語」で情報を伝える
- 災害が起きたときに外国人を助ける
- 自分を守るための知識を持つ

住むところを探るとき、病院に行くときに困らない

- 住むところを探すことを助ける
- 病院に行きやすくする
- 困ったときに助けを受けることができるようにする

目標Ⅲ: 連携(力を合わせる)

いろいろな人たちと力を合わせて、活躍と共生を進める千葉県

外国人活躍と多文化共生に関わるいろいろな人たちと力を合わせる

Chiba Prefecture Foreigner Participation and Multicultural Coexistence Promotion Plan Overview

To realize a society where anyone can participate actively as they are regardless of differences such as nationality and cultural background

Overview

Purpose
To promote initiatives in order to realize a society where anyone can participate actively as they are, based on the principles of the Ordinance for the Respect for Diversity, in collaboration with relevant organizations, and as the prefecture linked closest to the world by Narita International Airport.

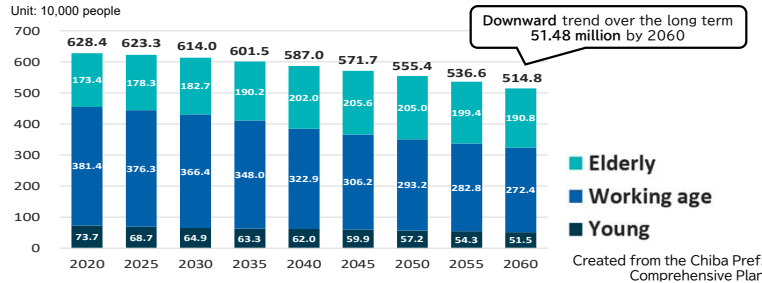
Period of the Plan
FY2024 to FY2027

Progress management
Set progress management indicators for each policy objective and check the figures annually

Background

* In this plan, "foreigner" refers to anyone, regardless of their country or region of origin, who has a cultural background or speaks a language that is not Japanese.

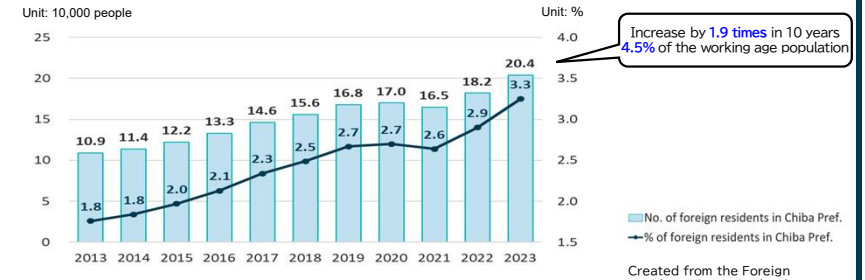
○ Projected population change in Chiba Pref.



Recent major changes in socio-economic circumstances

- National policies (e.g. establishment of Employment for Skill Development Program) · Increasing international competition for human resources
- Digitalization · Effects of COVID-19 · Exacerbation of climate disasters · Strengthening of Narita Airport's functions

○ Number of foreign residents in Chiba Prefecture & percentage of Chiba Prefecture's population



Key Perspective in Prefectural Administration

Fundamental Principle in the Ordinance for the Respect for Diversity: to realize a society where anyone can live as they are by ensuring that all prefecture residents and businesses understand and respect each other regardless of their differences such as nationality or cultural background

➔ Respect for diversity relieves difficulties in living and increases creativity, bringing vitality to the entire Prefecture

Policy Objectives & Measures

Fundamental Objective

To build a prefecture where anyone can participate actively and live at ease, and through this bring lasting vitality into society going into the future

Policy Objective 1: Active participation

To build a prefecture where each person is respected as a unique individual and is able to participate actively as they are

Labor force

- Employment support for persons such as international students
- Support for employment and settlement of foreigners in Chiba Prefecture.

Enhance support for anyone such as international students who wishes to work in Chiba Pref. (seminars, etc.)
Promote the employment and settlement of foreign human resources through employment infrastructure in a wide variety of industries
Aviation industries (encourage greater utilization of foreign human resources)

Upholders of the local community

- Foster awareness of multicultural coexistence
- Create opportunities for foreign residents to participate actively

Promotional materials to promote the understanding of principles including the significance of respect for diversity
Sharing of examples of good practice between municipalities on the foreigners' collaboration with the local community
Increase CHI-BA+KUN Global Partners activities

Communication

- Enhance community-based Japanese language education
- Promote the use of Easy Japanese
- Multilingual support for administration services; disseminate information in Easy Japanese

Promote foundational Japanese language education for learners such as entire households
Conduct seminars on and Easy Japanese and encourage its use on resources such as the Pref.'s website
Improve capability to respond to consultation from foreigners

Education for Children

- Establish & enhance the education instruction system for foreign students
- Train & retain educators and instructors
- Encourage education & support career development

Further enhance the system of Japanese language instruction for foreign students who require it
Enhance support measures for youths with foreign nationality who have passed the age of compulsory education

Disaster prevention, crime prevention, traffic safety

- Disseminate disaster information in Easy Japanese and other languages
- Establish a system to support foreign residents during disasters
- Foster awareness of crime prevention and traffic safety

Improve disaster education in Easy Japanese
Set up the multilingual support center during large-scale disasters

Housing, medical, health, welfare

- Establish housing-related infrastructure
- Establish medical-related infrastructure
- Support for health & welfare

Form a council of relevant organizations on medical matters faced by foreigners

*Content in blue indicates key revisions in the plan.

Policy Objective 3: Collaboration

To build a prefecture that promotes active participation and coexistence through collaboration with various entities

Collaboration and cooperation with various entities for the promotion of active participation by and multicultural coexistence with foreigners

千叶县外国人积极参与及多元文化共存促进计划 摘要

~ 实现不分国籍、文化背景等各种差异，每个人都能以自己的方式发挥积极作用的社会 ~

计划的摘要

【制定的宗旨】

基于多样性尊重条例的理念，以「实现每个人都能以自己的方式发挥积极作用的社会」为目标，作为拥有成田机场距离世界最近的县，我们将努力与所有相关方共同推进各项活动。

【计划期间】

2024年度 ~ 2027年度

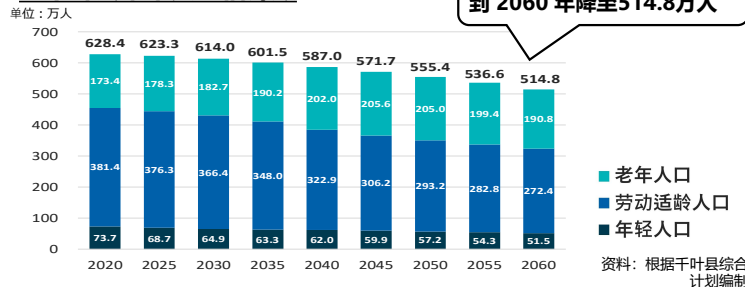
【管理措施】

为每项措施目标设定进度管理指标，并每年核对数字

制定方案的背景

※本计划中的「外国人」：是指不分国家和地区，拥有日本以国之外不同语言和文化背景等的人士。

○千叶县未来人口估计数



长期呈下降趋势
到 2060 年降至 514.8 万人

< 近年来主要社会经济形势的变化等 >

- 建立培训就业制度等的国策
- 国际人力资源竞争加剧
- 数位化的进展
- 新型冠状病毒感染的影响
- 日益严重的气候灾害等
- 进一步加强成田机场功能的进展

○千叶县的外国居民人数及其占县内人口的比例



10年间增长了1.9倍
占劳动适龄人口的4.5%

推进县政工作的重要视角

【多样性尊重条例的基本理念】通过所有县民和企事业之间的相互理解和尊重，不分国籍、文化背景等的差异，创建一个每个人都能以自己的方式发挥积极作用的社会
→ 尊重多样性可以消除生存困难并提高创造力，为整个县带来活力

目标·施政体系

基本目标

打造一个让每个人都能积极发挥所长、靠平和的生活、为未来社会注入活力的县

施政目标 I：活跃

每个人都是独立且有不同差异的个体，创建每个人都受到尊重并能以自己的方式发挥积极作用的县

活跃于职场的人才

- 支援外国人留学生等的就业
- 支援外国人招聘和留用
- 针对留学生等，为希望在本县就职的外国人举办研修会等，强化就职支援
- 通过改善各领域的就业环境等，促进外国人才的招聘和留用。
- 机场·航空相关产业（考虑外国人才的积极参与）
- 护理行业（留学生与设施的协调对接等）

成为当地社区肩负重任者

- 培养多元文化共存意识
- 为外国居民创造活跃空间
- 展开公共宣传和提高认知活动，促进对尊重多样性意义的理解
- 在市町村横向开展外国人与当地社区合作的良好事例
- 增加千叶君国际合作伙伴的活动机会

沟通交流等支援

- 学习日语和生活常识等，充实地区的日语教育
- 普及「简单日语」
- 在行政咨询台提供多语种支援，用多语种「简单日语」提供信息
- 推进随同家庭成员等的基础日语教育
- 举办「简单日语」讲座，并在县政府官网上使用推广
- 提高为外国居民提供咨询服务的能力

改善儿童的教育环境

- 建立充实的外国人儿童教育指导系统
- 教师、指导员的培训和确保
- 提高入学率、职业发展支援等
- 进一步完善针对需要日语辅导的外国人儿童和学生的辅导体系
- 强化对超过义务教育年龄的外国人子女支援体系

推进防灾·预防犯罪·交通安全措施

- 用「简单日语」和多种语言提供防灾信息
- 构建灾害时的外国人支援体系
- 培养预防犯罪和交通安全的规范意识
- 利用「简单日语」提高防灾意识
- 设立千叶县灾害多语言支援中心，应对大规模灾害

改善住房·医疗·保健和福利

- 改善生活环境
- 改善医疗环境
- 在保健·福利领域上提供支援
- 由外国人医疗相关机构成立协议会

※蓝色字体：修订要点

施政目标 III：合作

通过与各方携手合作，创建一个积极参与、共生的县

各方之间的协调与合作，促进外国人的积极参与和多元文化共生

千葉縣外國人積極參與及多元文化共存促進計劃 摘要

~ 實現不分國籍、文化背景等各種差異，每個人都能以自己的方式發揮積極作用的社會 ~

計畫的摘要

【制定的宗旨】

基於多樣性尊重條例的理念，以「實現每個人都能以自己的方式發揮積極作用的社會」為目標，作為擁有成田機場距離世界最近的縣，我們將努力與所有相關方共同推進各項活動。

【計畫期間】

2024年度~2027年度

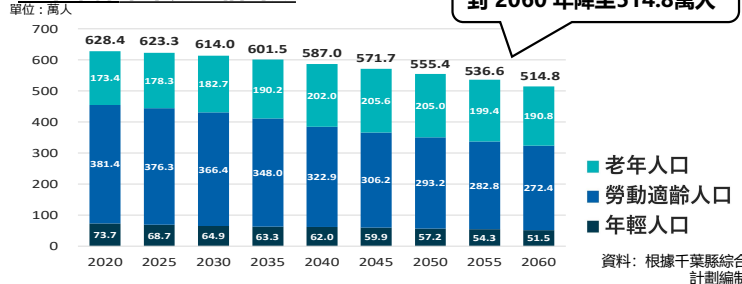
【管理措施】

為每項措施目標設定進度管理指標，並每年核對數字

制定方案的背景

※本計劃中的「外國人」：是指不分國家和地區，擁有日本國之外的不同語言和文化背景等的人士

○千葉縣未來人口估計數



長期呈下降趨勢
到 2060 年降至 514.8 萬人

○千葉縣的外國居民人數及其占縣內人口的比例



10年間增長了1.9倍
占勞動適齡人口的
4.5%

數據來源：
出入國管理廳《外國居民統計》
縣政府的「每月常住人口調查」
和「按年齡組別、城鎮和地區畫
分的人口」所編製

< 近年來主要社會經濟形勢的變化等 >

- 建立培訓就業制度等的國策
- 國際人力資源競爭加劇
- 新型冠狀病毒感染的影響

- 數位化的進展
- 進一步加強成田機場功能的進展

推進縣政工作的重要視角

【多樣性尊重條例的基本理念】通過所有縣民和企業之間的相互理解和尊重，不分國籍、文化背景等的差異，創建一個每個人都能以自己的方式發揮積極作用的社會

→ 尊重多樣性可以消除生存困難並提高創造力，為整個千葉縣帶來活力

目標・施政體系

基本目標

打造一個讓每個人都能積極發揮所長、靠平和的生活、為未來社會注入活力的縣

施政目標 I：活躍

每個人都是獨立且有不同差異的個體，創建每個人都受到尊重並能以自己的方式發揮積極作用的縣

活躍於職場的人才

- 支援外國人留學生等的就業
- 支援外國人招聘和留用

・針對留學生等，為希望在本縣就職的外國人舉辦研修會等，強化就職支援
・通過改善各領域的就業環境等，促進外國人才的招聘和留用。
・機場・航空相關產業（考慮外國人才的積極參與）
・護理行業（留學生與設施的協調對接等）

成為當地社區肩負責任者

- 培養多元文化共存意識
- 為外國居民創造活躍空間

・展開公共宣傳和提高認知活動，促進對尊重多樣性意義的理解
・在市町村橫向開展外國人與當地社區合作的良好事例
・增加千葉君國際合作夥伴的活動機會

溝通交流等支援

- 學習日語和生活常識等，充實地區的日語教育
- 普及「簡單日語」
- 在行政諮詢台提供多語種支援，用多語種和「簡單日語」提供信息。

・推進隨同家庭成員等的基础日語教育
・舉辦「簡單日語」講座，並在縣政府官網上使用推廣
・提高為外國居民提供諮詢服務的能力

改善兒童的教育環境

- 建立充實的外國人兒童教育指導系統
- 教師、指導員的培訓和確保
- 提高入學率、職業發展支援等

・進一步完善針對需要日語輔導的外國人兒童和學生的輔導體系
・強化對超過義務教育年齡的外國子女支援體系

推進防災・預防犯罪・交通安全措施

- 用「簡單日語」和多種語言提供防災信息
 - 構建災害時的外國人支援體系
 - 培養預防犯罪和交通安全的規範意識
- ・利用「簡單日語」提高防災意識
・設立千葉縣災害多語言支援中心，應對大規模災害

改善住房・醫療・保健和福利

- 改善生活環境
 - 改善醫療環境
 - 在保健・福利領域上提供支援
- ・由外國人醫療相關機構成立協議會

※藍色文字：修訂要點

施政目標 II：合作

通過與各方攜手合作，創建一個積極參與、共生的縣

各方之間的協調與合作，促進外國人的積極參與和多元文化共生